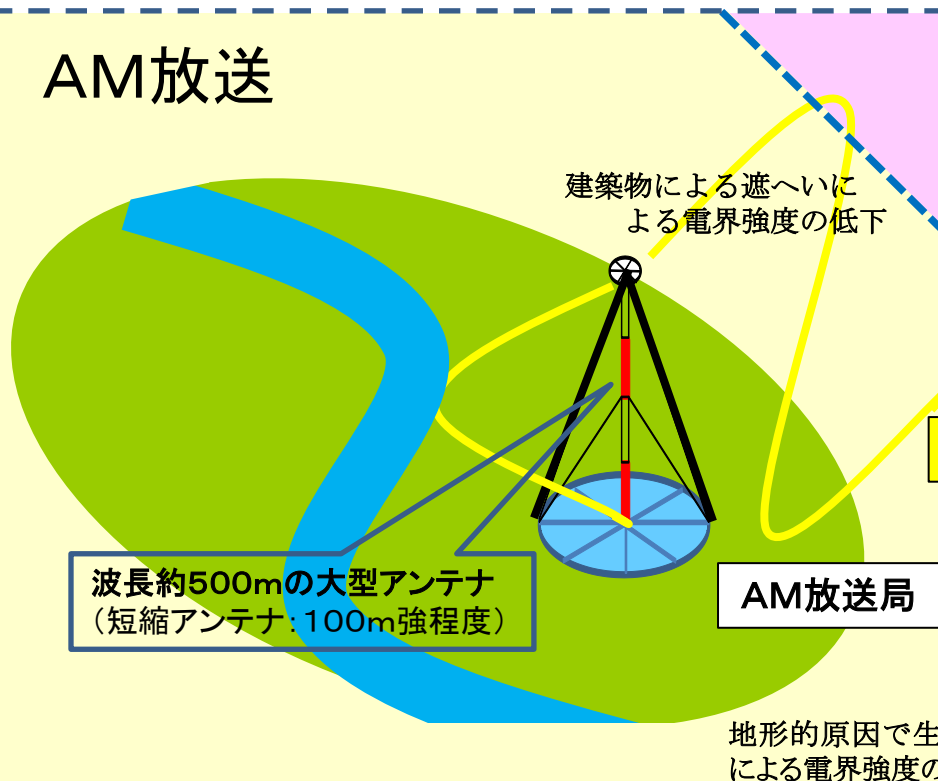


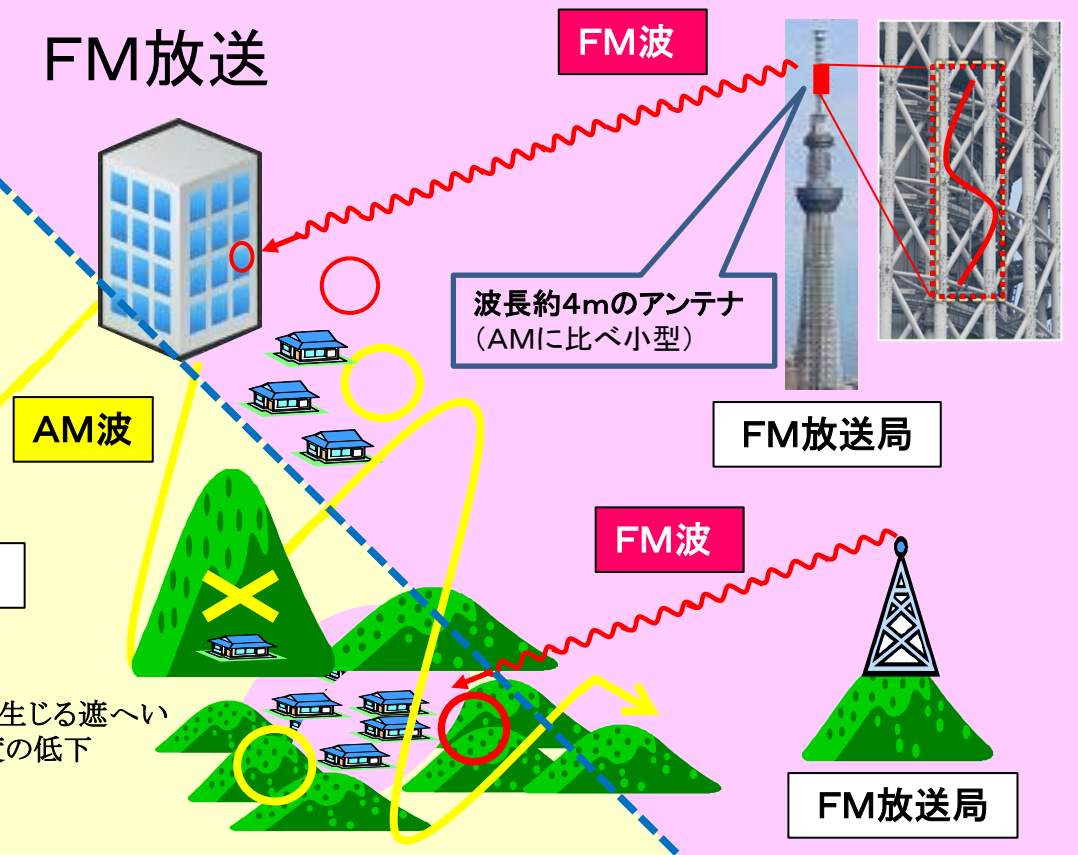
AM放送とFM放送の違い

	AM放送	FM放送
建物内(鉄筋)	電波が入りにくい→聞こえにくい	電波が入りやすい→聞こえやすい
山影	回り込みやすい → 聞こえやすい	回り込みにくい → 聞こえにくい
送信アンテナの設置場所	広大で伝導率の高い敷地 (川辺など)	山頂や鉄塔

AM放送



FM放送



AM放送とFM放送の一般的な特性と特徴

	AM放送	FM放送
周波数(国内)	526.5～1606.5 kHz	76.1～98.9 MHz
波長	約200～600 m	約3～4 m
放送される音の範囲※1	100 Hz～7,500 Hz	50 Hz～15,000 Hz
回路構成	極めて単純。電源なしで受信可能なラジオ※2もある	デジタル受信機に比べて比較的単純
到達範囲	広い (海外にも電波が到達)	中程度 (数10 km～100 km程度)
電気雑音による混信	希望波の強弱に関わらず、雑音は音として出力される	放送波が強い場合、雑音は出力音に出てこず、影響小

※1 可聴音の周波数は約20～20,000Hz、電話は約300～3400Hz

※2 鉱石ラジオ、災害時等に利便性を発揮

AM放送とFM放送の電波波形

